

中国地区品質経営協会 シンポジウム

モノづくりマネジメント技術革新

- 参加のお勧め -

近年のモノづくりは、これまでのように供給側が考える高品質/高信頼性の追求にとどまらず、顧客が想定する以上の価値を提供し、感動を与える品質づくりが求められています。

更に我々を取り巻く昨今の状況下で企業が永続的に発展するためには、その体質強化の活動が常に行われ、かつ そのモノづくり活動を継続的に進化し続ける必要があります。

本シンポジウムではそのような厳しい状況下において長期にわたって歴史ある事業活動を展開してオンリーワン/NO.1 に変革し続けられてきた取り組み事例を、広島県の地場の中から異業種の企業を選び、その中心で技術革新されてきたお二人をお招きしてご講演をいただきます。

また、広島大学大学院 高橋教授のコーディネートによるパネルディスカッションを行い、参加者の皆様からの質問にお答えする形で意見交換を行うことができると考えております。

本シンポジウムで、新市場や新分野に進んでいく中での技術的課題やその取り組みについて多くの示唆やヒントを得ていただけるものと思います。皆様方の積極的なご参加をお待ちしております。

日 時 : 2018年10月31日(水) 13:20 ~ 17:00 (13:00 開場)

会 場 : 広島商工会議所ビル 1階 101 会議室

プログラム :

第一部 講演 (13:25 ~ 14:25)

『テーマ名：プラスチックフィルム向け機能性材料塗工装置 - 「MCD」塗工装置 - 』

富士機械工業株式会社

開発部 開発課 係長 磯崎 徹 (いそざき とおる) 氏

第二部 講演 (14:35 ~ 15:35)

『テーマ名：船舶の抵抗低減を実現する船底防汚塗料』

中国塗料株式会社

技術本部 技術企画部 技術企画第一グループ

グループリーダー 増田 宏 (ますだ ひろし) 氏

第三部 パネルディスカッション (15:55 ~ 16:55)

・ 富士機械工業株式会社 磯崎 徹 氏

・ 中国塗料株式会社 増田 宏 氏

・ 広島大学 大学院工学研究科 教授 高橋 勝彦 氏 (コーディネーター)

講演者/講演要旨 紹介

< 講演 >

【講演者】

磯崎 徹 氏 (富士機械工業株式会社 開発部 開発課 係長)

【略 歴】

- ・ 1993年 富士機械工業株式会社入社
- ・ 1994年 設計部配属
- ・ 1996年 開発部配属 現在に至る

【講演要旨】

富士機械工業は、1951年に機械器具の設計製造を目的として設立しました。1978年よりグラビア印刷機を、1985年より金属印刷機（PRIMEXシリーズ）を製造販売しております。

「MCD（マイクロチャンバードクター）」塗工装置は、液晶テレビ・スマートフォン・リチウムイオン二次電池などの製品構成部材の製造において機能性材料を塗布する用途に使用されている装置です。高速生産性と超薄膜均一性を同時に実現するとともに、品質の安定化・作業の安全性も大幅に改善した革新的な製品であり、当社のグラビア印刷機、金属印刷機とならぶ主力商品となりました。

「超薄膜で高速性・均一性を実現するプラスチックフィルム向け機能性材料塗工装置の開発」として、第7回ものづくり日本大賞 特別賞を受賞しました本装置をご紹介します。

< 講演 >

【講演者】

中国塗料株式会社 増田 宏 氏 (技術企画部 技術企画第一グループ グループリーダー)

【略 歴】

- ・ 1984年 中国塗料株式会社 技術本部 R&D センター入社
- ・ 2009年 技術本部 防汚技術部 部長
- ・ 2015年 韓国 CHUGOKU-SANHW PAINTS 社長
- ・ 2018年 技術本部 技術企画部 技術企画第一グループ リーダー 現在に至る

【講演要旨】

昨年創立百周年を迎えた中国塗料は、広島で国産の船底防汚塗料を開発する決意で誕生し、現在は船舶用塗料を中心に世界展開を図っています。

塗装の目的には美観や色彩の付与がありますが、船舶では船底に海洋生物が付着すると、速度低下と燃費悪化を招くため「海洋生物付着防止」という重要な目的が加わります。このため船底防汚塗料は、四世紀に渡り生物付着防止のために進化しつつ塗装されてきました。近年では地球温暖化対策でCO₂排出抑制が船舶にも厳しく求められるようになり、塗膜の平滑性を高めることで海水との摩擦抵抗を更に低減しCO₂排出量削減に貢献できるタイプも開発して参りましたので、その一端をご紹介します。

パネルディスカッション コーディネーター紹介

高橋 勝彦 氏 (広島大学 大学院工学研究科 教授・工学博士)

[略 歴]

- ・ 1986年 早稲田大学 理工学部 助手
- ・ 1989年 広島県立大学 経営学部 経営情報学科 講師
- ・ 1994年 広島大学 工学部 助教授
- ・ 2001年 広島大学 大学院 工学研究科 助教授
- ・ 2003年 広島大学 大学院 工学研究科 教授 現在に至る

[主な役職]

デミング賞委員, 日本経営工学会中国四国支部運営委員, 日経品質管理文献賞委員,
日本 MOT 学会編集委員, 中国地区品質経営協会副運営委員長, 他

会場案内

広島商工会議所ビル 1階 101 会議室

広島市中区基町 5-44 TEL(082)222-6610(代表)



- ・ 相生通り(国道 183 号線) 沿い原爆ドームの向かい。
- ・ 路面電車 系統、各社バス/アストラムライン利用の場合は、原爆ドーム前、紙屋町、広島バスセンター県庁前等で下車。

参加要領

[定 員] 150 名

[参 加 費] 会員会社 無料 (非会員会社 3,000 円 / 一人)

[申込締切日] 2018 年 10 月 22 日 (月)

[申 込 方 法] 参加申込書に必要事項を記入の上、郵送、FAX、又は E メールにてお申し込み下さい。

シンポジウム「モノづくりマネジメント技術革新」参加申込書

申込先：中国地区品質経営協会 行

〒733-0011 広島市西区横川町3丁目5番9号（世良ビル404号）

TEL (082) 532-6844 FAX (082) 532-6845

e-mail : qmac@a1.mbn.or.jp URL : <http://qmac.jp/>

会社名	申込責任者：		
	TEL：		
	e-mail：		
住所（〒 ）			
参 加 者 名	所 属 ・ 役 職		
参加（計 名）	受付確認連絡	必要	・ 不要
参加（計 円）	請求書発行	必要	・ 不要

ご記入頂いた企業・組織および個人情報は、参加申込受付処理並びに当協会からのセミナーや行事のご案内のために使用します。